

ローターアクト委員会

ローターアクト委員会 委員長 中村 幹也 (坂戸 RC)



地区内のロータリアンの皆様、2570 地区では現在 2 つの大学を主体としたローターアクトクラブが活動しています。まずは当委員会として川越 RAC、城西大学 RAC の 2 つの大学生主体のクラブと活動をともにして、今後は地区内に新たな社会人、大学主体のローターアクトクラブの設立に向け努力していきたいと思えます。もちろん、ローターアクトクラブ設立は各クラブの皆さんのイニシアティブが重要です。私ども委員会と地区はあくまでお手伝いができるだけです。設立もそうですがその後の RAC へのケアと援助も大変に重要になります。長く活発に活動を継続させるためにも提唱 RC のご努力が欠かせません。

今回、当委員会には RAC よりそれぞれの会長が委員として加わっていただき一緒に活動してまいります。各提唱クラブ、RAC、当委員会が協力して活動いたしますが加えて地区内の青少年に係る委員会(財団、米山、青少年交換、アクトライラ)の皆様とも引き続き協力してまいります。

2019 年 10 月の国際ロータリー理事会により年齢制限が撤廃され 18 歳以上の男女が参加できるようになりました。この決定により RAC は私たち RC とほぼ同等の権利と義務が付与されるようになり、地域社会または大学を基盤とした RAC を地元のロータリークラブが提唱して設立するように RI は呼びかけています。現在、世界 180 か国 1 万余の RAC、20 万人を超えるローターアクターが活動しています。こうした中において 2570 地区の川越 RAC は 1968 年に

世界で初めて設立された USA のノースシャーロットローターアクトクラブと同じ 1968 年に埼玉県国際商科大学ローターアクトクラブ(現川越 RAC)が設立されるという歴史と伝統を持っています。

コロナ禍 3 年間を乗り越えて学生諸君は子供食堂のお手伝い、地元の商店街の活性化への参加などそれぞれ知恵とアイデアを出し彼らなりにできることから活動を再開しています。引き続き RAC だけの活動にとどまらずインターアクトクラブ(高校生主体)との共同活動、ロータリークラブの社会奉仕などに共に協力して活動を進めていくようにアドバイスと応援していきたいと思えます。

以上